

# 「子どものための音楽ひろば」特別演奏会 キッチンと音楽室の パーカッション

台所用品や、木琴、カスタネット、タンバリンなど学校の音楽室にもある打楽器をスーパーテクニクで奏でる楽しいコンサートを開催します。3歳児からご入場いただける、休憩なしの1時間のコンサートです。ご家族でぜひご来場ください。

「子どものための音楽ひろば」特別演奏会  
キッチンと音楽室のパーカッション・コンサート  
フラワービート

山本晶子 (打楽器)  
小林真人 (ピアノ)  
青島未知 (打楽器)  
杉浦邦弘 (打楽器)

曲目  
A. ハチャコウリアン：剣の舞 (バレエ(ガイヌ)より)  
P.d. サラサーテ：ツイゴイネルワイゼン op.20

～楽器紹介～  
フラワービート (小太鼓四重奏)  
キッチンビート (台所用品四重奏)  
お掃除ビート (デッキブラシ四重奏)  
アルペンビート (ボディパーカッション四重奏)  
J. ドッド：ミッキーマウス・マーチ  
大野雄二：ルパン三世のテーマ ほか

2021  
2/27 土  
15:00 開演 (14:00 開場)  
\* 休憩なし 16:00 終演予定

台所用品や、木琴、カスタネット、タンバリンなど学校の音楽室にもある打楽器をスーパーテクニクで奏でる楽しいコンサートを開催します。

## ラインホルト・フリードリヒ プラス・クインテット 公演中止のお知らせ

2021年3月7日(日)に予定していた「ラインホルト・フリードリヒ プラス・クインテット」公演は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために執られている海外からの入国者への水際対策措置の緩和に目処がたたないため、当館では当公演を開催することは難しいと判断し中止とさせていただきます。当公演の開催をお待ちいただいていた皆様には心よりお詫び申し上げます。

## 新型コロナウイルス 感染症対策について 静岡音楽館AOIからのお願い

静岡音楽館AOIでは新型コロナウイルス感染症について静岡市等関係機関からの最新の情報の収集に努めるとともに、感染予防・拡大防止に最新の注意を払い対策を講じてまいります。お客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

ご来館に際しまして、お客様へ次のとおりお願い申し上げます。  
以下の事項に該当する方は、来館の自粛をお願いいたします。

- ・37.5℃以上の発熱または平熱比1度を超過されている方。
- ・呼吸困難や強いだるさ、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある方。
- ・同居ご家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる方。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方。

マスクの着用にご協力ください。(マスクを着用でない方は入館をご遠慮いただく場合がございます。)

社会的距離の確保(最低1mを目安)をお願いいたします。  
こまめな手洗い、手指消毒をお願いします。  
マスク、ハンカチ、ティッシュ、上着の内側や袖などで口をしっかりと覆う「咳エチケット」にご協力ください。

【静岡音楽館AOIの取組み】  
消毒液をロビー等に設置しています。  
館内は消毒液を使用した清掃を行うとともに、換気につとめています。

## ご寄附のお願い

静岡市文化振興財団が目指す魅力ある静岡文化の創造について、ご関心のある市民の皆さま、法人・団体の皆さまからの寄附金の受付を行っております。静岡市のさらなる文化振興の発展のため、有益な事業を展開するための運営費となります。当財団に寄附をしていただいた方は、税制上の優遇措置を受けられます。寄附をお考えの方、寄附制度について詳しくお知りになりたい方は、ホームページをご覧ください。下記までお電話でお問合わせください。

お問合せ

静岡市文化振興財団  
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

〒420-0857 静岡市葵区御幸町4番地の1 アーバンネット静岡ビル4階  
TEL.054-255-4746 FAX.054-653-3501  
HP: <https://www.scpf.shizuoka-city.or.jp/>  
e-mail: [office@scpf.shizuoka-city.or.jp](mailto:office@scpf.shizuoka-city.or.jp)

# AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌

DEC. 2020 No. 100



## 「AOI通信」100号に寄せて 私の理想 野平一郎 (静岡音楽館AOI芸術監督)

メッセージ 山中千尋 (ジャズ・ピアノ)

「静岡の名手たち」による  
ピアノ・ガラ・コンサート

オペラ・アリアの夕べ

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ  
お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、2020年度をもって退会をご希望のかたは、2021年2月末日までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員 (2020年11月末現在) 50名

●(株)アオイテック ●(株)タミヤ  
●(株)SBSプロモーション ●(株)戸田書店  
●(株)ジェリアル東海ホテルズ ●(株)メディア・ミック静岡  
ホテルアンソシア静岡

コンサートシリーズ2020-21  
主催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団  
特別協賛 静岡信用金庫  
協賛 アイワグループ ANSHINDO  
助成 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。  
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- \* 価格は税込です。
- \* 都合により内容を変更する場合があります。
- \* お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- \* 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- \* 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- \* 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- \* 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- \* 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。

託児サービス  
要事前予約(1週間前まで)・託児料: 1人1,000円  
対象: 生後6ヶ月~小学生  
すわん Tel./Fax.054-255-5377  
(火~金 10:00~15:00)  
e-mail: [swan@xqj.biglobe.ne.jp](mailto:swan@xqj.biglobe.ne.jp)  
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。  
休講が早い場合、託児をお断りしています。

JR静岡駅北口を出てすぐ左

静岡中央郵便局 合同建物内

至 浜松 至 東京

●静岡市美術館 ●松坂屋  
●パルシェ JRF静岡駅 ●ホテルアンソシア静岡  
●静岡科学館 ●ホテル センチュリー静岡

CONCERT HALL SHIZUOKA  
静岡音楽館 AOI

月曜日休館 (ただし祝日開館、翌平日休館) 9:00~21:30開館  
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9  
お問合せ  
054-251-2200

検索

## 「AOI通信」100号に寄せて

「AOI通信」って…

「AOI通信」は開館当初から発行している季刊誌です(年4回発行)。

AOIで開催するコンサートについて、出演者へのインタビューや、実施したコンサートのレビュー(コンサートの講評)、AOIからのお知らせなどを掲載しています。

また、「チケットでスマイル」のお店の紹介や、企画会議委員を務めてくださっていた、グルメな池田直樹氏(ノリトン)の料理レシピを掲載していたことも。何度かのリニューアルを経て、このたび100号を迎えました。お手元にある方は改めて見返してみると、そのときのことが思い出されるのではないのでしょうか。

これからも「AOI通信」をよろしく願っています。



# 私の理想

## 野平一郎

(静岡音楽館AOI芸術監督)

東京藝術大学、同大学院修士課程作曲科を修了後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に学ぶ。ピアニストとして内外のオーケストラにソリストとして出演する一方、多くの国際的な名手たちと共演し室内楽奏者としても活躍。古典から現代までレパートリーは幅広い。近年は指揮者としても活躍、コンチェルトの弾き振りを含め、自作初演でNHK交響楽団等を指揮する。100曲に及ぶ作品の中には、フランス文化庁、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、IRCAM、国立劇場からの委嘱作品があり、近作では《祝典序曲》(K.ナガノ 指揮/モントリオール交響楽団)、《触知できない領域》〜チェロとピアノのための〜(チェロ:堤剛)、管弦楽のための《時の歪み》(杉山洋一 指揮/東京都交響楽団)、現在進行中のNHK交響楽団との3年に亘る新作発表のプロジェクト《シズオカ・トリロジー-I》《シズオカ・トリロジー-II》(静岡県コンベンションアーツセンター)、室内オペラ《亡命》(サントリーホール)など、いずれの作品も圧倒的な成功を収めた。オーケストラ・ニッポニカ ミュージック・アドヴァイザー。第13回中島健蔵音楽賞、芸術選奨文部大臣新人賞、第11回京都音楽賞実践部門賞、第35回サントリー音楽賞、第55回芸術選奨文部科学大臣賞、第44回、第61回尾高賞、第75回日本芸術院賞を受賞。2012年には紫綬褒章を受章。現在、静岡音楽館AOI芸術監督。東京藝術大学作曲科教授。

「AOI通信」が100号を迎えることとなった。これまで1回も途絶えることなく年4回、静岡音楽館AOIと、その主催コンサートを楽しみにしてくださるお客様がたとの間の架け橋として機能してきた、とても重要でかけがえのない小冊子なのだ。私が芸術監督に就任した2005年頃は主に記事が中心で、内容については素晴らしかったが、細かい「字」にこと欠かなかった。何となくビジュアルなものが不足している気がして、スタッフにはそのことを進言した記憶がある。音楽愛好家は、同時に美術や他の視覚芸術にもきちんと意見を持っている人が多い。「見た目」も重要ではないかと思ったし、よりデザイン的にも興味深いものができれば、さらにこの通信を広めたり、新た

に通信を手にする人がいることで音楽館の会員を増やして行くことにも資するのではないだろうかと考えた。

私は25の時にフランスに留学したが、パリ音楽院を出た後も音楽家として働きながら計12年間を過ごした。年齢が若かったこともあり、その時にフランスのさまざまな芸術活動から受けた印象は、1990年の帰国後もずっと残っていて影響は拭いがたいものとなっている。現代音楽のコンサートでピアノを弾くことが多かったのはポンピドゥー・センター<sup>1</sup>の地下のホールやIRCAM(同センター音楽部門)の地下にあるエスパース・ドゥ・プロジェクションだった。こうしたコンサートのプログラムはある意味でとても簡素で実質的、当時は紙にタイプしたものをホチキスで留めてあるだけの簡易なケースもあったが、小冊子や年間パンフレットのデザインは流石に超一級。手に取って眺めるだけでも楽しかった。全体的な印象もそうだが、アルファベットでたった3-4字しかない演奏団体やアンサンブルの略称やロゴなども大変お洒落で、それも毎年のように変化して行く。ポンピドゥー・センターそのものが20世紀芸術の殿堂であることを考えれば当たり前の話だが、印刷物の視覚的なものの重要性を教えてくれたのは、こうしたフランスの記憶からだった。AOIのたった3文字だって、目から訴えるものを作ることは可能ではないかと感じたのだった。

2005年に私の師匠であった間宮芳生先生からAOI芸術監督のバトンを受け継いだ時、「先生はどんなことを指針とされますか」と学芸員に問われ、すぐには即答できずにいた。その後新しく方針を立て、現在のホームページのコンセプトのところに、私の「重点方針」が掲載されている。こうしたビジョンは仰々しく言葉にしないでも(言葉にした途端に、行動はそれに束縛され制限される)、それを音楽館のさまざまな事業から感じ取ってほしい、読み取ってほしいと思っているわけだが、最初から、私にとって理想がなかったわけではない。ほぼ1990年の帰国と同時にパリのヴィレット地区に「音楽都市」が建設されたことは有名で、音楽ホールや図書館、音楽院などが1つの場所に集中している。そしてそのプログラムに見られる多様性・ポリシーがいつも私の「夢」の根底にあった。この音楽都市のプログラムの中に、先ほどの音楽館の原則や方針などはすべて含まれてしまうのだ。毎週1つのプログラムの柱があり、それを中心にしたコンサートや講演が目白押し。週末や昼の時間帯には、子供と親のための企画、それも子供の年齢に応じたきめ細やかな企画が組まれている。何よりもシーズンを構成するコンサートの多様性であり、クラシック音楽から現代音楽、JAZZ、民族音楽等をヴァリエティーを持った演奏家たちによって楽しむことができる。もし1年間シテ・ドゥ・ラ・ムジーク<sup>2</sup>に通ったなら、世界でどのような音楽が演奏されているのか、どのような演奏家や団体があるのかがすべてきちんとわかる仕組みとなっている。また週ごとのタイトルについても、その1つ1つが興味深いものだ。フィルハーモニーというホールの2018-19年のシーズンの最初の4ヶ月間を例に取ってみよう。この中には週末だけのものもあるが、1週間かかるテーマもある。プレリユードで始まり、ブレーズ・ピエンナーレ ポストン ワーグナーの指輪 ザッパ<sup>3</sup> 眠れぬ夜 日本 スピリット ミュージカルコメディー 戦争と平和 アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル<sup>4</sup> ドビュッシー/ラヴェル 画像を持った音楽 ロベール・ドワノー<sup>5</sup> エメルジャンス(出現) というように具体的から抽象的なものまで、音楽の問題を深くえぐるものから、非常に軽やかなものまでさまざま。その週に行われるコンサートや講演を聴くと、知らず知らずのうちにその問題についての深い見識を持てるよう



1996



1999

2000



2003

2005

になる。主催する方も過度にペダンチックにならず、難しい理論を振りかざすことなく、ただ客は素直にコンサートを楽しめば良い。自分の趣味を追求するのも良い。たまにはミュージカルが好きな人がワーグナーに興味を持つかもしれない。プーレーズ\*6の作品に興味のある人が、日本の雅楽に心を奪われるかもしれない。この例のように、静岡においても音楽に興味がある人が、いつでも訪れることのできるそんな場所、ホールになれば素晴らしいと考えている。もちろんホールを持つキャパシティ、予算の規模等々、パリのシテ・ドゥ・ラ・ムジークと静岡音楽館とは比較にならない。しかし、パリのホールが持つその精神やポリシー、実行力は常々模範にしたいと考えているところだ。少しでもこうした「理想」に近付こうと日頃から考えている。

さて、そんな音楽館と聴衆とを結ぶ強い絆、それが「AOI通信」だ。これからも多くのアーティストの声、多くのお客様の声、外部の方々の声、そして音楽館からの声、こうした複数の声がこたまし合い、よりよい音楽館にしていくための貴重な情報を交換する場として次の新しい100号へと続いて行くことだろう。

野平一郎(静岡音楽館AOI芸術監督)



\*1:ボンビトゥー・センター  
パリにある大型複合文化施設。1977年開館。国立近代美術館、映画館、多目的ホール、会議室、国立音響音楽研究所 (IRCAM)などから成る。

\*2:シテ・ドゥ・ドラマ・ムジーク  
パリにある文化施設。複数のコンサートホールや音楽博物館、メディアライブラリ等を有する。

\*3:ザッパ  
フランク・ザッパ(1940-93)。アメリカの作曲家、ギタリスト、マルチ奏者。

\*4:アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル  
ベルギーの現代ダンスの振付家・踊り手。1960年生まれ。

\*5:ロベール・ドワノー(1912-1994)  
フランスの写真家。

\*6:プーレーズ  
ピエール・プーレーズ(1925-2016)。フランスの作曲家、指揮者。IRCAMを創設し、初代所長を務めた。

## 2021年1月28日(木)に登場いただく ジャズ・ピアノの山中千尋さんから メッセージをいただきました。



2005年にメジャーレーベルからデビューして以来、15周年を迎えることができました。これまでずっと熱いご支援をいただき、心から感謝しています。ほんとうにありがとうございます。2000年からニューヨークを拠点にして、毎年アメリカ、ヨーロッパをはじめ、世界の各地で公演を重ねてきました。

わたしにとって、これからの新しい年の第一歩となるコンサートを静岡音楽館AOIに開催していただけますことを、大変うれしく光栄に思います。素晴らしい音響を持ち、超一流の数々のプログラムで有名なコンサートホール、静岡音楽館AOIならではの、世代を超えて楽しんでいただけますようなプログラムを準備しリハーサルしております。

「ジャズの魅力や楽しさ」をみなさまに共感していただけるよう、わたしなりの切り口で、お話と演奏をお届けするつもりです。みなさまのご来場を心からお待ちしています。

山中千尋



JAZZ LIVE 山中千尋 ニューヨークトリオ(2013.9.21 静岡音楽館AOI)

撮影:日置真光

## JAZZ LIVE 山中千尋 ジャズ・ピアノ・コンサート

出演  
山中千尋(ピアノ)  
山本裕之(ベース)

2021

1/28 木

19:00 開演(18:00 開場)  
全指定 ¥5,000(会員¥4,500)

22歳以下  
¥1,000

残券僅少



# 「静岡の名手たち」による ピアノ・ガラ・コンサート

「静岡の名手たち」は、静岡音楽館AOIが1995年の開館からずっと継続しているオーディションで、いまでは静岡の音楽家たちにとって登竜門的な存在となっています。

鍵盤楽器、声楽、弦楽器、管楽器、打楽器、邦楽、アンサンブル  
の7部門があり、アンサンブル部門は毎年、ほかは隔年で実施しています。  
今回は、ピアノの合格者によるコンサートを開催します。  
前半はソロ、後半は連弾や2台ピアノなどの  
アンサンブルでお楽しみください。

- 曲目
- F.リスト：《パガニーニによる大練習曲》第3番〈ラ・カンパネッタ〉S.141-3
  - R.シューマン：トッカータ 八長調 op.7
  - C.ドビュッシー：子どもの領分より
  - M.ラヴェル：水の戯れ
  - B.バルトーク：ルーマニア民俗舞曲 Sz.56 より〈ボルカ〉〈シュネルタンツ〉
  - 松谷卓：TAKUMI/匠 (TV「大改造!! 劇的ピアノアフター」より)
  - J.ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 嬰へ短調 (1台4手)
  - G.ビゼー：《カルメン》前奏曲 (1台6手)
  - J.シュトラウスⅠ世：ラデツキー行進曲 op.228 (1台8手)
  - J.S.バッハ：主よ、人の望みの喜びよ (BWV147) (2台8手)
  - F.シューベルト：軍隊行進曲 op.51-1, D.733-1 (2台8手)
  - E.エルガー：威風堂々第1番 op.39-1 (2台8手)
  - E.シャブリエ：狂詩曲《スペイン》(2台8手)



今田篤

※当初出演を予定していた長谷川由輝子、トピアス・ボルスボームの2名は新型コロナウイルス感染症の影響により来日が困難なことから、出演を取りやめることとなりました。



入川舜



平井陽子



鈴木啓資



松谷卓



撮影：日置魔光

# 「静岡の名手たち」による ピアノ・ガラ・コンサート

2021

1/16 土 22歳以下  
¥1,000

18:00 開演 (17:00 開場)  
全指定 ¥ 3,000 (会員 ¥ 2,700)

## 第25回「静岡の名手たち」 オーディションのお知らせ

日程および部門／  
2021年5月3日(月・祝) 打楽器部門・邦楽部門・声楽部門(順不同)  
4日(火・祝) 鍵盤楽器部門・アンサンブル部門(順不同)  
5日(水・祝) 弦楽器部門・管楽器部門(順不同)

\*通常、部門は隔年で募集していますが、2020年に実施する予定だったオーディションを新型コロナウイルス感染症の影響により中止したため、今回すべての部門を募集します。

申込締切／2021年3月5日(金)必着

応募資格など詳細は募集要項でご確認ください。  
募集要項は静岡音楽館で配布しているほか、ホームページよりダウンロードできます。



★「静岡の名手たち」FACEBOOKあります。  
こちらもおあわせてご覧ください。



2月に開催する「オペラ・アリアの夕べ」はオペラ・アリアの名曲を集めたコンサートです。

独唱あり、二重唱あり、四重唱あり。

名曲の数々を山田美也子氏のナビゲートでお届けします。

皆さんもきつとどこかで聞いたことがあるはず。

出演者はいずれも第一線で活躍中の方方で、メゾソプラノの清水華澄さんは静岡の出身です。

また、テノールの望月哲也さんはこれまでも何度もAOIにご出演いただいています。そして、

望月さん、青山貴さんはIL DEUのメンバー。

新型コロナウイルス感染症の影響で2020年3月のIL DEUの公演は中止でしたが、

この公演でお二人の声をお聴きいただけます。

華麗なるオペラの世界をどうぞ堪能ください。

曲目

- W.A.モーツァルト：歌劇《コン・ファン・トゥッテ》K.588 より  
〈あの黒髪の人がいいわ〉  
〈気まぐれな瞳〉
- G.ドニゼッティ：《愛の妙薬》より  
〈受け取って、あなたは自由よ〉  
〈人知れぬ涙〉
- C.グノー：歌劇《ファウスト》より  
〈宝石の歌〉  
〈この土地を離れる前に〉  
〈この清らかな住まい〉
- G.ビゼー：歌劇《カルメン》より  
〈ハバネラ〉  
〈お前が投げたこの花は〉
- G.プッチーニ：歌劇《ラ・ボエーム》より  
〈私の名はミミ〉  
〈冷たき手〉
- P.マスカーニ：歌劇《カヴァレリア・ルスティカーナ》より  
間奏曲 (ピアノソロ)  
〈ママも知るとおり〉
- G.ヴェルディ：歌劇《仮面舞踏会》より  
〈お前こそ心を汚す者〉
- G.ヴェルディ：歌劇《リゴレット》より  
〈女心の歌〉  
〈悪魔め、鬼め〉  
四重唱 〈美しい恋の乙女よ〉

# オペラ・アリアの夕べ

# OPERA ARTIA



嘉目真木子 (ソプラノ)  
© T. Tairadate



清水華澄 (メゾソプラノ)  
© Takehiko Matsumoto  
静岡出身



望月哲也 (テノール)  
© FUKAYA\_Yoshinobu auraY2



青山貴 (バリトン)



石野真穂 (ピアノ)  
© 藤原栄治



山田美也子 (ナビゲーター)

# オペラ・アリアの夕べ 2/13 土

2021

18:00 開演 (17:00 開場)  
全指定 ¥ 4,000 (会員 ¥ 3,600)

残券僅少

22歳以下  
¥1,000